親子で青空討論会

馬渡子供会で初めて実施

宮浦支部馬渡分会子供会では、六月十四日（日）午後一時から馬渡広場に子供会、父兄が集つて青空討論会をもよおした。この初企画である討論会は、馬渡のよい子たちが、さきにおこなつたアンケートをもとに、こんどの子供会のあり方をきめるためおこなつたものだが、雲一つない青空の下で、地域のおじさん、おばさんたちの助言のもとに、汗をふきふき熱心に各学年別に実施した。

テレビは八時半まで

馬渡子供会では既報のようにアンケートを実施して、自分たちがどう思つていることや、いろんな要望を率直に出し合つたが、子供会育成会では、このアンケートにもとずいて、こんどの子供会の活動を一そう有意義な成果のあるものにしようと、ここに青空討論会を思い立つた。

子供たちはこれはよいと思つていることでも、親の立場からみるとあまり感心しないこともある。逆に親たちがこれは…と思つていることでも、子供たちには子供たちの独自の考えもあり、こういう面はお互いに意見を出し合つて、子供会として取上げてこんご運営していく上に、一つの指針を見出そうというのが狙いでもあり、またこういう場所でいまから自分の考えをしゃべるのに一つの訓練をもたせようということもふくまれていた。

（上）廣場に設けられた討論会場
（下）子供たちの代表と発表風景

汗をふきふき発言

この日、広場西側に急ごしらえの討論会場をつくり、子供側、父兄側の意見を司出す司会者として、子供育成会の緒方総務部長があたつた。

まず、各学年ごとにそれぞれテーマをつくり、一年生「僕等の遊び（遊び場所）」、二年生「僕（私）のおこづかい」、三年生「漫画の本について」、四年生「テレビと勉強」、五年生「僕はこんなことはいけないと思う」、六年生「大人の社会（お父さんお母さん）へこう思う」、中学生「公聴道徳服装問題」の項目ごとにおこなつた。

会場の左側に父兄代表が席につくと右側には各学年別に代表たちがそれぞれ十名近く着席してはじめられた。

緒方総務部長の司会は、ユーモアをまじえた面白おかしい中に、問題の核心をちゃんとつかむという名司会ぶりに、ややもすれば固くなりがちのふん囲気も和らげられ意見がつぎつぎに引き出されていつた。

カンカン照りの天候は、梅雨の候とは名ばかりでまつたく盛夏の感じ、パラソルを開いた主婦たちや木かげを求める大人たちが、熱心に討論会に聞き耳を立てている。

フロクが楽しみ

二年生の「僕のおこづかい」ではアンケートにあらわれた数字を司会者が説明すると、父兄側から「子供の健康や教育補導を考えてこづかいはやつて貰いたい」と主婦の意見が飛び出してくる。また「親からこういうものを買つたら体に悪いといわれたものは、絶対買わないようにして下さい」と主張されるや、子供代表たちもそれに賛成して結論がつぎつぎに出ていく。

漫画、雑誌の項では三年生の代表者から「フロクが楽しみだから本を買う」というすなおな意見も出され、熱心に聞いていた人たちもニツコリしてなるほどとうなづいている。漫画本に対するほとんどの意見は、大きくなるに従い自然に読まなくなるので、読書欲を高めるためにも、また字をより多く覚えるためにも自然に読ませたがよい……というのが圧倒的だつた。

そして親はその過程で判断力を養うように仕向けさせるのがよかろうという結論に達した。

「テレビと勉強」でもさまざまの意見が出されたが、「遅くとも八時半では見終ろう」ということが子供たちで確認し合われた。

次回にはもつと発言しよう

折鶴・花束で見舞

毎朝分院を訪れる二少女

病室には、部屋が狭しとばかり大小さまざまの折鶴が吊られ、青葉の間から吹きもれてくる涼風にあふられて折鶴たちはひらひらと揺れている。

「今日もあのよい子たちから花を貰つた……」と、ここ平井分院の病室で窓辺に活けた花を見ながら喜びを隠し切れずに語つている益城晋さん（三川）と山口国男さん（三川）がいる。二人部屋のこの二人の病床のおじさん達を感激させているよい子は緑ガ丘小鳩町十八棟の井出口由美子ちゃん（六年生）と横町二十四棟の松本まり子ちゃん（三年生）の二少女である。病床に吊られた折鶴たちもこの二少女がおじさん達を慰めるために贈つた優しいプレゼントだある日、益城さんたちのいる病室の窓辺に二少女があらわれた。それは意外に、山口さんが飼つている小鳥を見るために立寄つたのであるが、これが縁となつた。たまたまこのよい子たちが病室を眺めたら折鶴があるのに気付き、「私たちも折鶴なら持つているよ」ということから、突然去る六月十二日登校前によい子たちは手に一杯の折鶴と花束を持つて病室を訪れ益城さんらを驚かせた。

【由美子ちゃんのお母さん談】子供たちがやつたささいなことですので、大げさにいわれると恥ずかしいくらいです。

【まり子ちゃんのお母さん談】夜遅くまで折鶴を折つていたので何をしているかと思つていました。近所の人から聞かされて始めて知りましたが、子供たちにはよいことならどんどんやりなさいと言つてきかせました。

なお緑ガ丘小学校でも早速全校生徒の前で表彰している。（右が由美子ちゃん、左がまり子ちゃん）

こうして、各テーマごとに、貴重な意見がつぎつぎに出されていつたが、この討論会が初の企画であり、こういう雰囲気によくなじんでいない面もあつて、子供たちの発言が活ぱつでなかつたことは少し淋しかつたが、こういう討論会を積重ねるにしたがつて、ますます活ぱつになるものと期待されている。

広場の片すみで終始討論会を聞いていた四十年配の父親は「全くこんなことはよいことですね。それに今日でもみるように緒方さんという心はとても熱心で本当に感心していています。今ではうちの子供も子供会の行事というと喜んで参加していますが、親の立場からいえば安心して育成会に任せられます」と喜んでいた。

美しい隣人愛（鷺町）

隣組で乳飲児の世話

闘争のときばかりが団結ではない困つているときは皆が助け合つていかねばならないと、緑ガ丘鷺町では、隣組の人たちが乳児のおしめの洗濯やら世話をしている美しい話題がある。

鷺町の明山正一さん（四山・掘進）はさいきん奥さんが急病で亡くなられ、小学校四年の子供を頭に四人の子供をかかえて、勤務と家庭の世話で途方にくれていた。

とくに四人目の辰一ちゃんは生後まだ二カ月の乳呑児で、男の手ではなかなか心配の種であつた。みるにみかねた隣組（八戸）では赤児の世話で明山さんが勤務にさしさわりでもあれば大変だ、お互いに忙しい身ではあるが、替りばんこにでもよいから少しでもお世話したらということが衆議一結したのである。

明山さんの実家からも手助けがこられたが、何といつても農家のことだから今は猫の手も借りたい位いの忙しさ。また、こられたのは七十近いおばあさんだから、赤ちゃんのおしめの洗濯位いはお互いにやつてやろうということで、以後、毎日交替で洗濯や掃除をしたり、赤ちゃんの入浴を手助けしている。

また、明山さんと職場が同じ桜井さんも近所におり、この実状をみて世話を引受けている。

隣組の主婦たちは突然奥さんが急性ぜん息で亡くなられました。それで私たちも何とか力になるならと、交替ででもよいから洗濯や赤ちゃんの入浴を引受けています。明山さんは非常に恐縮がつて遠慮されていますが、苦しいときはお互いさまです。こういうときこそ助け合つていかねばならないと励ましています。

と語つているが、頼もしいことである。

【写真は洗濯する隣組の人たちと良一ちゃん】

学習を活ぱつに

主婦会定期総会終る

主婦会第七回定期総会は六月十四日午前九時半から、大牟田市民会館でおこなわれた。

全員炭婦協の歌合唱ののち、議長団選出、会長挨拶にひきつづき宮川組合長をはじめ大牟田荒尾両市長、各友誼団体から主婦会の発展を祈りこの総会が意義あるものとなるようにとのメツセージがおくられた。「企業整備・不当解雇に反対しましよう」「安保条約を破棄し平和憲法を守りましよう」など六項目のスローガンを満場拍手で採択、報告事項を終つたのち議事に入つた。

今年度の行動方針として(1)組織強化をはかる、そのためには学習活動を昨年に倍して活ぱつにし、そして身近かな問題をとりあげていつでも気軽るに話しあえるように小さな集りの中から学習に励むことにする。(2)生活革命運動を徹底させ、とくに生活対策を万全として闘いに備える。(3)平和を守るために直面する安保破棄闘争や原水爆禁止運動に積極的にとり組んで全国民に働きかける。(4)子供たちの幸せになるため先生たちや民主団体、婦人団体と手をとり合い努力する。(5)他団体との交流を深める。

以上の方針のもとに、今年度は活動することとなつた。

規約規程一部改正を承認、つぎの役員を選任して、新陣容で発足した。

会長　南場キソノ（四山）
副会長　森すみえ（宮浦）
〃　石丸益枝（本所）
事務局長　藤枝文子（三川）
会計　福島除子（三川）
監査　小川アキエ（宮浦）
〃　藪内信子（三川）
総務　上形富士子（製作）
文教　川畑信子（港務）
福祉　生清静子（四山）
（各支部長）
宮浦＝佐伯愛子　四山＝尾田恒子
三川＝中山初美　本所＝吉田アツ
港務＝古賀澄枝　製作＝小島勝子

南場会長挨拶

・企業整備・不当解雇は主婦会としても自分たちの問題であり、例え長期間に闘いがなろうともあくまで撤回しなければなりません。そのためには、こんど主婦会としては今まで以上に家庭的にも組織の面でもしつかり学習をして行かなければならないと覚悟しています。

主婦会の総会風景と円内は南場会長

子供との約束は厳守

馬渡PTAでアンケート

宮浦支部馬渡分会ではこのほど子供会がアンケートを実施したが、これと併行してP・T・Aにも実施、親の立場からみた子供たちへの注意や、親自身の反省を行つたアンケートは配布四四七、集約三七三、その主な内容を記してみると……、

まず子供のいない家庭の分をみると（集約三三）

※子供への希望

△子供がいないので無関心だつたこんごは注意してみる

△道徳心指導

△道路上でキャツチボールしないよう

△柵、浴場の塀等の落書清掃

△紙芝居をみないように

※親として反省すべきこと

△親も朝起会清掃に協力を（三）

△テレビのない子にみられるように（一）

△子供にガミガミいいすぎる（一）

△子供をしかるより指導を（一）

△親自身の公衆道徳を反省し子供のよい手本となれ（一）

※子供会行事について

△ちようどよい（一七）

△行事が少い（二）

△多過ぎる（二）

※馬渡子供会と他の子供会と較べて

【よいところ】

△毎日曜日の朝起会と清掃

△他の子供会の子供より素直

△きまつたことをよく守る

△時間励行する

【悪いところ】

△浴場や道路上での遊び

△小さい子をいじめる

△三番方に迷惑かける

つぎにPTAの分をみると

※家庭教育について（自分の子をどうみる）

△今は勉強ができないが将来に希望している（一一一）

△勉強の上手よりよい社会人へ（八）

△長所を伸ばしている（五六）

△勉強下手あきらめている（一一）（子供のしつけ）

△予復習を時々させている（一五九）

△〃　毎日　〃（八〇）

△本人の気ままに（三七）

△小さい時にしつけし大きくなつては伸び伸びと（一四）

※自己反省について

△子供との約束は必らず守つている（一五四）

△一部守る、自信なし（九二）

△あまり守つていない（二二）（感情について）

△喧嘩は危険でなければ止めずに後で注意する（一〇四）

△冷静に双方の意見をきく（八二）

△すぐ止め仲直りを（一〇二）

△くわつとなつてしかる（二三）

※マンガの本について

△大きくなれば……成行きに任せている（二〇七）

△困る。方法がない（三九）

△親の指導が大切（一三）